

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年11月29日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから11月29日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

あしたの委員会定例会の議題は6つです。

まず、1つ目ですけれども、高経年化した発電用原子炉に関する安全規制の検討の3回目です。

これは前回11月16日に、制度設計に向けた必要な論点の整理をするよう指示がありましたけれども、論点は当然幾つかあるのでしょうかけれども、今回は経年劣化に関する技術的な評価の内容について議論するということになります。

主に、現行制度で何年目の時点でどういう評価をしていますというのを改めて確認した上で、新しい制度で30年、40年、50年、60年以降について、技術的にどういう評価をするかというのを議論するという会になります。

議題の2つ目ですけれども、バックフィットに関する文書策定の2回目です。

これは11月16日の委員会で案が説明されまして、幾つか修正意見がありましたので、修正を加えまして、今回、決定・了承される見込みになっています。

議題の3つ目ですけれども、請負契約に関する要改善事項の是正措置という案件ですけれども、これは6月29日の委員会で入札にかかる請負契約の仕様書を事業者に作成させていたという案件が報告されましたけれども、類似事例がないかという調査をするということになっていたものであります。その調査の結果、類似の不適正な事案はなかったということが報告されます。調査は、職員に対する質問とヒアリング、あとは行政文書の共有データの検索の2つの手法で行った結果、見つからなかったというのが報告されます。

議題の4つ目ですけれども、環境放射線モニタリング技術検討チームの取組の報告です。

この検討チームは6年前に設置されまして、主にモニタリングの測定手法の改定というのを年に1種類ずつ地道にやってきたのですけれども、地道過ぎて余り日の当たる機会もなかったので、この機会に一回、6年間の歩みを報告しておきましょうという議題です。

議題の5つ目ですけれども、第2四半期の検査結果の報告の2回目ということで、これは先週に報告されたものですけれども、幾つか修正意見が出ましたので、修正して改めて報告するというものになります。

議題の6つ目ですけれども、IAEA（国際原子力機関）の核セキュリティ諮問委員会の結果概要ということです。

これは先週ウィーンで行われまして、田中委員が出席したものでありますけれども、田中委員からその結果の報告があります。

次が、3ページ目の12月5日の（8）震源を特定せずの経過措置に係る意見聴取会です。これは第3回とありますけれども、2回目、前は3年前にやっていますので、久しぶりというものになります。

この震源を特定せずの件は、去年の4月に規定が改正されまして、経過措置は許可については3年と決まっていたのですけれども、設工認については、今後、許可の審査が進むにつれて改めて決めますということになっていましたので、許可の審査が割と進んできましたので、設工認のほうの経過期間をいつまでにするかということを決める必要があって、それに向けてまず事業者の意見を聞くというものになります。事業者側は、関係する事業者、四電とか九電とかJAEA（日本原子力研究開発機構）、あと、ATENA（原子力エネルギー協議会）が参加されます。

次が、12月5日の（9）ですけれども、特定兼用キャスクの型式証明の審査会合です。

議題は2つありまして、1つ目が、三菱重工の案件で、これは前回9月1日にやっています、そのコメント回答です。

2つ目は、日立造船の案件で、これも前回9月15日のコメントへの回答となっています。

12月5日の（10）ですけれども、1F（福島第一原子力発電所）の事故分析検討会です。

議題は6つありまして、1つ目が、1号機の格納容器内部調査、いわゆるペDESTALの鉄筋という件ですけれども、これまでの調査結果をより詳細に分析したものが報告されるみたいです。

2つ目は、今年度の取りまとめの素案とありますけれども、今年度の取りまとめをしますけれども、それに向けて、こんな目次でというようなことが報告される見込みです。

3つ目は、東電として調査検討するというもののリストがあるようですけれども、それについての進捗報告ということのようです。5年ぶりの報告ということのようです。

4つ目は、1号機の配管に水素等が滞留していることが分かったということで、その旨の報告です。

5つ目は、これまでも議題になってきましたシールドプラグの形状測定の件。

6つ目は、田中委員が11月11日に現地調査をしましたので、その際の報告ということになります。

こちらからは以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属とお名前をおっしゃって
から質問のほうをお願いします。質問のある方は手を挙げてください。

では、ヨシノさん。

○記者 テレビ朝日、ヨシノです。

12月5日の事故分析検討会についてですけれども、第1議題、1号機原子炉格納容器内部
調査ですが、調査はあまり進んでないですね。特にペDESTALの鉄筋コンクリートに
関しては、数ヶ月前に取ったものから進捗していないのですけれども、何か新しい画像
なりデータなりが出てくるのでしょうか。

○黒川総務課長 調査自体は6月に1回、そこまでやっています、その後、新しい現場で
の調査をしたわけではなくて、そこまでに得られた画像とか何とかを改めて全部見まし
て、こういう情報がありますみたいなものはあるみたいですが。新しいデータとか画像と
かは特にないのですけれども、改めてそれを見たところ、こういうことが分かりましたと
いうようなことがあるみたいです。

○司会 ほかに御質問はございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—